

番組「すたあと こうていでなかまをあつめよう」を活用した本時案

月
日

新潟市立新潟小学校 教諭 三星雄大

活動名

なかまあつめ

活動のねらい

番組を視聴して「なかまあつめ」の活動に取り組むことを通して、視点を決めて分類することを理解する。

本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 番組を視聴し、活動に見通しをもつ。 「こうていでなかまをあつめよう」 ・ グラウンドにあるブランコも固いよ。 ・ 木も丸いよ。	○ 番組を視聴しながら自分の学校の校庭を思い浮かべて反応する子どもがいる。その自然な反応を大切に、5分間は動画を止めたり教師が指示をしたりはしない。
2	2. 「なかまあつめ」をしたいという思いを高める。 ・ ぼくもなかまあつめをしてみたい。	○ 「やってみたいことはありますか？」などと、なかまあつめをしてみたいという思いを引き出す。
5	3. 番組の視点を基に、自分の学校の校庭について考える。 ・ グラウンドのブランコは固い仲間。 ・ 木でできたアスレチックは、丸い仲間。 ・ 白い色の仲間ならグラウンドにある。	○ 「固い」や「丸い」について、自分の学校の校庭であればどのようなものが当てはまるかを子どもから引き出す。さらに、別の視点（色など）でも考えられそうかを問い、活動の見通しをもたせる。
18	4. 「なかまあつめ」を行う ・ 遊具はみんな固いね。 ・ 窓、砂場は四角いね。 ・ シロツメクサは白いね。ブランコの柵も白いね。	○ 広い校庭での活動となる。活動範囲、活動時間を示し、安全に配慮して実施できるようにする。 ○ 子どもがどんな仲間を見つけたのかを聞きながら、「なかまあつめ」をする子どもの姿を価値付ける。
15	5. 見つけたなかまを絵で表現する。 ・ 固い遊具をかこう。 ・ 窓も砂場もかいてみよう。	○ 絵を描くための ワークシート を用意し、子どもが見つけた仲間を描きやすいようにしておくことよ。

☆番組活用の別案

- ・ 描いた絵を使ってクイズを行うことができます。ただし、一回の活動で全員のクイズを出すことは難しいので、毎回の国語の導入部分で活用したり、ペアで行ったりすることも考えられます。
- ・ 分類する視点（色、形、質感）などを全員で共有しておきます。そして、家や学校の中でも「なかまあつめ」をする機会を設けることもできます。例えば、家であればテレビや冷蔵庫も「固い仲間」と見ることができます。テレビは番組を観て楽しむ道具。冷蔵庫は、物を冷やして保存する道具。別々の機能をもった道具も「固い」という視点で見れば同じ仲間と見ることができると、物の見方を広げることができます。

新型コロナウイルス感染症対策で配慮すること

活動後は手洗いを徹底しましょう。



NHK

Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation). All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。